

ふ く い

校 訓

真実(まこと)をもとめ 身をきたえ ともにつとむる福井校
 かしこく やさしく たくましく
 ふるさと大好き福井っ子

安心・安全への備え

梅雨空のもとで紫陽花が美しく花を咲かせています。雲の間から見える夏空も日に日に輝きを増し、本格的な夏の訪れが近いことを感じます。5・6年生と教職員で一生懸命掃除してきれいにしたプールからは、水泳学習に取り組む子どもたちの元気な声が聞こえてきます。

6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震では、プールのブロック塀が倒壊し、その塀に挟まれた児童の尊い命が失われるという痛ましい事故がありました。また、怪我をされたり家屋等が損壊したりするなど多くの被害が発生しました。亡くなられた方々にご遺族に哀悼の意を表するとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

今回の地震は通学時間帯ということもあり、すでに学校に到着していた登校班もありましたが、登校中の班もあり、見守りボランティアの方々大変お世話になりました。見守りボランティアの方々から、防災訓練等で指導している『地震の際は、落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所に避難して、身を低くして頭を守る。』行動が意識されていたと教えていただきました。万が一に備えることの大切さを実感するとともに、今後ものちを守る防災訓練に真剣に取り組んでいきたいと思えます。

本校では、「学校安全計画 危険等発生時対処要領」で、登下校時の地震発生時における児童の対応として、以下のように定めています。

『①身を守る行動をとる。②原則として、自宅、学校、地域の避難場所のいずれかの安全で近い所へ向かう。津波の危険があるときは、最寄りの安全な高台へ避難する。③登校した場合は、教職員の指示に従い避難する。帰宅した場合は、学校へ連絡する。』

地震が起きた際に自分自身の判断で身を守ったり、迅速に避難したりできる力を育てていくことが求められますが、緊急時にどのような行動をとるかは非常に難しい判断です。防災放送に耳を傾けたり、近くの大人の指示・助言を受けたりすることも必要になります。安心・安全な環境づくりのため、今後とも保護者、地域の皆様のお力添えをいただきますよう、よろしく願いいたします。また、通学路についても気になることがありましたらお知らせください。

いよいよ1学期最後の月、7月を迎えます。授業日14日間の1日1日を大切に、それぞれの学級で1学期の学習や生活を振り返り、しっかりまとめをして夏休みを迎える準備をしていきます。子どもたちが健康でいきいきと学習に取り組むことができるよう、栄養・休養（睡眠）・運動に十分配慮いただきますよう、お願いいたします。

校長 中西 一就
 教職員 一同

